



2025年9月25日 発行:練馬・生活者ネットワーク 発行責任者:君垣圭子
〒176-0001 練馬区練馬1-15-1-302 TEL:03-3993-4899 FAX:03-5999-4632
webページ <http://nerima-net.gr.jp> メール info@nerima-net.gr.jp

ソーラーシェアリング 見学会「さがみこファーム スタディツアー」を開催



◀「さがみこベリーガーデン」のソーラーシェアリング。2025年8月18日

7月に相模原市で初めてのソーラーシェアリング「さがみこベリーガーデン」を見学。ソーラーシェアリングとは、農業用地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、農業を営みながら太陽光発電をおこなうシステムのことです。「営農型太陽光発電」と呼ばれています。

ソーラーシェアリングを話題にするときに必ずあるのが「農地の上を太陽光パネルで覆うことで農産物の収穫量に影響はないのか」、「農地に太陽光パネルを設置するなんて環境破壊ではないか」などの疑問や意見。「それなら、いっしょに現場を見に行こう!」と8月にスタディツアーを企画したのです。

「気候危機のなか、作物の高温障害を回避するためにも農地に日影が必要。そして農地に日影がある価値は生産者がいちばん理解しているのではないかと(株)さがみこファーム代表の山川勇一郎さん。ソーラーシェアリングは農業を維持していくために有効な取り組みであることを参加者と共有しました。また、さがみこファームで発電する電気は、災害時にポータブル充電器に充電し、地域の自治会で活用できるよう災害協定を結んでいるそうです。

都市農業が盛んな練馬区ですが、

生産緑地法による制約などソーラーシェアリングの実現は簡単ではありません。しかし、持続可能な農業と再生可能エネルギーの取り組みを求めて「食もエネルギーも地産地消」を提案していきます。

やない克子

食の安全を考える ゲノム編集食品の 表示義務を求めて

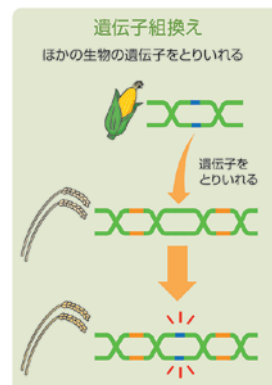


▲「2025年度市民による『遺伝子組み換えでない』表示市場調査参加募集及びスタート集会」に登壇。2025年6月29日

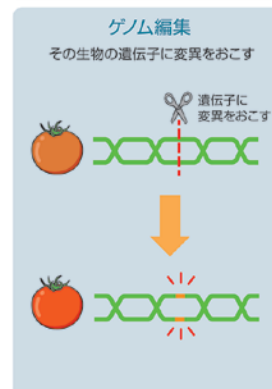
2022年、「区立の小学校・保育園・介護福祉施設が、ゲノム編集トマト苗の無償配布を受け取らないことを求める」運動を行いました。結果、区に確認したところ、受け取った小学校はありませんでした。しかし、今はGABA(ギャバ)の含有量を高めたトマト、食べられる部分が増加したマダイなどのゲノム編集食品が商品化され販売されています。

ゲノム編集とはその生物のDNAを切断し変異を起こすことです。ゲノム編集食品は長期的な影響がまだ不明なので、消費者には食べ続けることの健康被害などの不安や不信感があります。ゲノム編集食品には

ゲノム編集食品と 遺伝子組換え技術との違い



遺伝子組換えでは他の生物がもつ有用な遺伝子を取り入れて新しい性質を持たせること



ゲノム編集ではその生物が持っている遺伝子を切断して変えることで新しい性質を持たせること

出典:「遺伝子組換え食品・ゲノム編集食品Q&A」p22(国立医薬品食品衛生研究所) p22の図は分割して掲載。
https://www.nihs.go.jp/dnfi/pdf/GMGE_QA_PDF.pdf

表示義務がありません。知らずに購入する可能性もあり、消費者自身の判断で食品を選ぶために表示義務化を求める消費者運動が全国的に進んでいます。

また、2023年の食品表示制度改正により、遺伝子組み換え表示は任意表示の「遺伝子組み換えでない」表示条件が厳しくなり、よりわかりにくくなりました。消費者が「知る」「選ぶ」権利を保障するために情報の開示を求めています。

山崎まりも

練馬・生活者ネットワークのルール

1. 議員を職業化せず、特権化しないために、議員はローテーション(交代)します。
2. 議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。
3. 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

◎カンパを募集しています。

カンパ振込先【郵便振替】00100-6-398010 練馬生活者ネットワーク